

登下校中における地震発生時の対応・危険なブロック塀の確認について

昨日18日午前7時58分頃に大阪府北部を震源として最大震度6弱の地震が起きました。昨日までに4人が死亡、300人以上が負傷したと発表されました。

高槻市立寿栄小学校4年三宅璃奈さんは登校中に小学校のプールのブロック塀が倒れて亡くなりました。また大阪市東淀川区の安井実さんは朝の見守り活動中に民家のブロック塀が倒れて亡くなりました。

大野小学校の敷地内にはブロック塀はありませんが、校区内や通学路には多くのブロック塀があります。そこで、7月3日の1学期末PTA「地区PTA」の際に育成部員を中心に《危険なブロック塀》について出し合い、危険箇所を知る取り組みを行います。

なお、急を要するような危険なブロック塀が通学路にある場合は学校まで連絡をお願いします。裏面の「あぶないブロック塀とは」を参考にしてください。

本日学校では、登下校中に地震が発生した時にどうすればよいかについて、児童の安全確保のため、下記のように指導しました。

①周囲の状況を見ながら歩く。

路面のひび割れ、崖崩れはないか。頭上に落ちそうな瓦・看板等はないか。
崩れそうな石垣・塀・外壁、倒れそうなブロック塀はないか。
危険な場所は通らない。

②揺れを感じたら速やかに頭・身体を守る。

揺れを感じたらランドセルやかばんなどで頭を保護し、揺れが収まるまでしゃがむ。

石垣・塀・石碑・自動販売機などから離れる。〈倒壊の危険性〉

電柱・信号機が倒れないか気をつける。

車道から離れる。車の動きに注意する。

〈揺れのためにハンドルのコントロールができない車の危険性〉

橋の上下、中九州道高架下は危険。すばやく離れる。

③2次災害から身を守る。

傾斜地では崖崩れの発生を考え避難する。

崖からばらばら小石が落ちてくる。崖の上の木が揺れたり傾いたりする。

山の木がざわざわする。地鳴りがする。

→すばやく逃げる

ガス漏れの現場から離れる。

火災発生現場に近づかない。

④大地震の場合、自宅か学校か近い方に向かう。

登下校中に大地震が発生した場合、揺れが収まったら、自宅か学校か近い方に向かう。判断に迷ったら学校へ向かう。

小規模の地震であれば、登校中なら学校へ、下校中なら自宅へ向かう。

各家庭で、合流場所・避難場所・避難経路・緊急時連絡先などの話し合い・確認を確実にお願いいたします。

また、ご家庭でも登下校時・在宅時の注意点について指導をお願いいたします。

*不明な点や心配なことがありましたら、学校または担任までお問い合わせください。

大野小 34-2017